

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	4171600226
法人名	歌垣福祉会
事業所名	グループホームうたがきの里
所在地	佐賀県杵島郡白石町大字築切264番地1 (電話) 0952-84-6661

評価機関名	佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成20年11月14日	評価確定日	平成21年1月28日

## 【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 5 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 16 人

### (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄筋平屋造り
------	----------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500 円	その他の経費(月額)	7,500 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	1日当たり800円		

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	7 名	要介護2	9 名		
要介護3	2 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.7 歳	最低	77 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	高島病院 そがデンタルクリニック
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園地帯が広がる自然豊かな平野の中でデイサービスセンターに隣接して建つ事業所である。ホームの前は小学校で、子ども達の声が日常的に聞こえ、入居者とは挨拶や声掛けを通して交流している。隣接のデイサービスセンターの利用者やボランティアとは相互訪問もあり、入居者の楽しみとなっている。敷地面積が広く、道路との境界は低いフェンスがあるのみで開放的であり、駐車場や花壇・野菜畑などゆったりとした生活環境が提供されている。居間の外には入居者全員が集えるような広いデッキがあり、日向ぼっこや野鳥観察などの寛ぎの場として利用され、焼肉会なども行われている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の結果は全職員で話し合いを持ち、改善課題となったものは検討を重ね具体的な改善に活かしている。改善課題となった地域との交流は運営推進会議にはかり、助言を頂きながら取り組んでいる。市町村との連携では行政の担当者に評価結果を提示し、共に相談する機会を設けている。同業者とのネットワークづくりもでき、外部評価を事業所のサービス改善に積極的に活用している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で取組み、ケアの振り返りや見直しにつなげている。今回の評価結果は運営推進会議で取り上げ、より質の高いサービスの改善につなげる計画である。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では外部評価の結果を伝え、事業所の取り組みを説明している。また、日頃の取り組みや行事報告・行事計画についても伝えている。事業所が地域の一員として活動する意見交換の場として活用されている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族等が利用料金を持参される時や面会時に、管理者は必ず声をかけ話をする事を心掛けており、入居者の日常の様子や健康状態を伝えている。入居者別に担当職員が決まっており、面会が少ない家族には電話で連絡をとり、情報交換している。重要事項説明書に事業所における苦情受付窓口と、行政機関その他苦情受付機関、苦情処理手順を明記し、家族に説明している。投函箱も設置され、意見を表せる機会を設けている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に入会し、地域の清掃活動や行事に参加するなど地域の一員として地元と交流することを心掛けている。独居老人の会から誘いが来たり、小学生とあいさつ交流するなど地元住民と双方向の関係が築かれている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	敬愛・信愛・友愛の精神と出会い・ふれあい・語り合いの心を大切にするとともに、人権を尊重した家庭的な生活を支援するという事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	業務開始時に理念の確認と唱和を行い、理念の共有に努めている。ホーム内に理念を掲示し、職員は日々の業務を通して理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入会し、地域の清掃活動や行事に参加するなど地域の一員として地元と交流することを心掛けている。独居老人の会から誘いが来たり、小学生とあいさつ交流するなど地元住民と双方向の関係が築かれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で取り組み、ケアの振り返りや見直しにつなげている。前回の外部評価の結果は全職員で話し合いを持ち、改善課題となったものは検討を重ね具体的な改善に活かしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地元区長や民生委員、行政担当職員、入居者家族などのメンバーで開催されており、議事録や関係書類も残されている。運営推進会議では外部評価の結果を伝え、事業所の取り組みを説明している。また、事業所が地域の一員として活動する意見交換の場として活用されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政担当者とは連絡を取り合い、相談できる関係ができています。行政から協働についての相談や問合せもある。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族等が利用料金を持参される時や面会時に、管理者は必ず声をかけて話をする事を心掛けており、入居者の日常の様子や健康状態を伝えている。入居者には担当職員が決まっており、面会が少ない家族には担当職員から電話で連絡をとり、情報交換している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に事業所における苦情受付窓口と、行政機関その他苦情受付機関、苦情処理手順を明記し、家族に説明している。玄関には投函箱も設置され、意見を表せる機会を設けている。頂いた意見は検討し、運営に反映させる体制ができています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間やユニット内において定期的に全職員が異動しており、入居者の担当職員も6ヶ月毎に交替している。	○	入居者と職員の馴染みの関係づくりは、サービスの質の確保の核心と考えられる。入居者と職員の馴染みの関係を保つことを重視し、異動が最小限に抑えられることを期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月事業所内の研修を開催している。外部研修会の開催情報は職員に伝えられ、希望すれば、できる限り参加できるように配慮されている。研修後は、職員会議のあとの内部研修において伝達講習されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者と地域連携協議会を発足し、定期的に交流している。地域連携協議会では情報交換や日頃の仕事の悩みを相談するなどし、サービスの質の向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	管理者が自宅を訪問したり、入居前にホームの見学を通して十分な説明をし、入居者と交流してホームの雰囲気を知ってもらうなど、安心して入居できる支援が行われている。希望により体験入居も受け入れている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理方法や園芸・野菜の育て方、昔の歌や情報など入居者から学ぶ事は多く、支え合う関係が築かれている。職員は入居者から教えてもらう場面が多くなる様、声掛けなどに工夫している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日々の生活を通して入居者と会話することを心掛けており、本人の思いや意向を汲み取るように努めている。希望や意思を伝えることが困難な入居者には本人の様子や態度から察したり、家族から情報を得るよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者や家族から要望を聞き、具体的な介護計画が立てられている。職員は日々の暮らしの中で入居者の変化や異常を感じ取ることを心掛けている。気づいた情報は記録し、介護計画に活かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期見直しと状態の変化があった時はその都度見直しが行われている。3ヶ月毎にモニタリングが行われ、現状に即した介護計画の見直しにつなげている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族や入居者本人の要望で、病院の送迎や外出支援・外泊支援など柔軟な対応がなされている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医受診の継続を支援し、安心して医療を受けられる体制ができている。通院などの送迎は入居者や家族の要望に沿って支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方については、契約時に話し合いが行われている。入居者や家族の意向を確認しながら取り組んでおり、方針が共有されている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は日頃から理念を念頭に置いた支援を心掛けている。入居者の尊厳を大切に、誇りやプライバシーを損ねることのない様言葉掛けや対応に配慮している。個人情報の記録簿もプライバシーに配慮し、適切に保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の基本的な流れは決まっているが、それにとらわれる事無く入居者の希望を大切にした支援を心掛けている。ぬり絵や計算ドリル・散歩など個人の希望に添った支援を心掛けている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや後片付けなど入居者ができることは職員が見守りながら支援している。入居者と職員は同じテーブルで会話を楽しみながら食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴希望がある場合、入居者は毎日の入浴が可能である。入浴時間帯や長さなどは本人の希望を大切に、ゆっくり入浴を楽しめる支援がなされている。入浴を拒まれる入居者には時間や順番を変えたり、職員の声掛けで入浴を支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や片付け・茶碗拭き、ボタン付けや雑巾作り、菜園管理や園芸、大工仕事など入居者それぞれに楽しみごとや役割があり、入居者主体の支援がなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	敷地面積が広く入居者は自由に庭や畑に出ることができ、職員は見守りながら支援している。四季折々の花見ドライブや自宅訪問、買物や散歩など入居者が希望されれば職員はできる限り支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は夜間のみで日中は施錠していない。各ユニットの出入り口は見通しが利き、職員は常に入居者の状況を把握するよう心掛け、見守りながら支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署指導の避難訓練が年2回行われている。地元消防団と連携をはかり、危険箇所の点検や避難経路の確認などの夜間避難訓練を行っている。避難訓練は地域住民にも知らされ、協力を依頼している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士がみており、栄養バランスの把握はできている。食事摂取量は主食・副食・汁物を毎食毎に記録し、一人ひとりにあった食事支援につなげている。水分はいつでも摂れるよう支援され、夜間も居室に用意するなどして1日1.2～1.5ℓの水分摂取を心掛けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間にはソファや椅子が多数置かれ、入居者は思い思いの場所で寛ぐ事ができている。居間に畳敷きの一角があり、寛ぎの場や洗濯物たたみの作業などに利用されている。玄関や食堂ホールは明るく、季節の花や手芸作品が飾られて季節感を感じる雰囲気作りがなされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は希望の品の持込みが可能である。写真や手芸品、本・人形などが飾られ、その人らしい居室作りが支援されている。希望すれば畳の貸し出しもされている。		